

令和9年度一般選抜（前期日程） 一般プログラムと地域創生 Tech Program について

一般選抜の前期日程では、地域創生 Tech Program の定員の一部を募集しています。
インターネット出願システム登録時に、一般プログラムと地域創生 Tech Program から、志望するプログラムを選択していただきます。

<選抜方法及び募集人員について>

○一般プログラムと地域創生 Tech Program における、各課程で課す教科・科目等は同じです。
学生募集要項でご確認ください。

工芸科学部

学域	課 程		募集人員	
			一般プログラム	地域創生 Tech Program
応用生物 学域	応 用 生 物 学 課 程		25	若干名
物質・材料 科学域	応 用 化 学 課 程		115	若干名
設計工学域	電 子 システム工 学 課 程		34	若干名
	情 報 工 学 課 程		44	若干名
	機 械 工 学 課 程		58	若干名
デザイン 科学域	デザイン・ 建築学課程	建築コース	65	若干名
		デザインコース	40	若干名
合 計			381	—

○第1志望で地域創生 Tech Program を選択した志願者は、同一課程に限り、第2志望に一般プログラムを選択することが可能です。選択しなかったプログラムで合格することはありません。

（「志望順位」は以下から1つ選択）

- ・第1志望：一般プログラム 第2志望：なし
- ・第1志望：地域創生 Tech Program 第2志望：一般プログラム
- ・第1志望：地域創生 Tech Program 第2志望：なし

○選抜の結果、第2志望のプログラムで合格することがあります。その場合、第1志望のプログラムで入学辞退者が生じた場合であっても、第1志望のプログラムで追加合格となることはありません。また志望しなかったプログラムで合格することはありません。

○なお、本学入学後、地域創生 Tech Program から同一課程の一般プログラムに3年次編入学することはできません。

※工芸科学部全体の募集人員及び募集人員の取り扱いについては、学生募集要項の巻末「令和9年度工芸科学部1年次学生募集人員」をご確認ください。

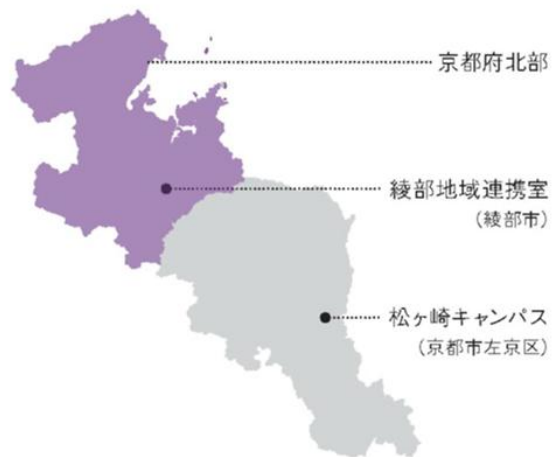
<地域創生 Tech Programについて>

地域創生 Tech Program は、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、各課程の専門知識及び技術をベースに、グローバルな視野で協働することができる人材を育成することを目的として開設された学位プログラムです。

本プログラムの学生は、一般プログラムの学生と同様に各課程のいずれかに所属し、**入学から3年次前学期までは京都市の松ヶ崎キャンパス**で開講される授業科目を履修して専門知識及び技術を身に付けます。

3年次後学期には京都府北部を拠点として、地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップといった実践的・能動的な学習に取り組みます。

本プログラムの卒業生は、各課程の専門力に加え、新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識及びチームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材として活躍することが期待されます。



※単位の修得状況によっては、京都府北部で地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップに取り組む時期が3年次後学期より後になる場合があります。

※地域創生 Tech Program 以外の一般プログラムの学生は、入学から卒業まで松ヶ崎キャンパスで学びます。

※入学後は地域創生 Tech Program から同一課程の一般プログラムに3年次編入学することはできません。

[地域創生 Tech Program のホームページはこちら](#)

[令和9年度一般選抜学生募集要項はこちら](#)